



## ユースフォーラムを終えて



日本西リジョンガバナー 井上 恭子

新しい女児プログラム「夢を拓く：女子中高生のためのキャリア・サポート」が発表されたのは2014年7月、カナダのバンクーバーで開催された連盟大会に於いてでした。熟慮の末、ユースフォーラムのテーマに取り上げることにいたしました。

あれから1年余り、この企画は優秀な45名の高校生たちと卓越した指導力でフォーラムを価値あるものに導いてくださった山田修平審査委員長のお陰で、感動をもって終える事が出来ました。「夢を拓く」プログラムのゴールである「高校生の持つ潜在能力を発揮できるようにエンパワーする」という目的の第一歩は踏み出せたと思っております。

自己紹介、グループ討論、グループ発表と時間が経つにつれお友達同士心を開き、人の意見に耳を傾け、活発な討論が交わされました。

多くの論文に国の内外を問わず、人のために役立ちたい、平等な社会を作りたい、弱い立場の人を救いたい、そのために職業を選び夢を実現させたいと書かれておりました。不幸な出来事ではありましたが、二つの大きな震災の経験は若い人たちに助け合いの精神を育てていったのでしょうか。

これから出会うであろう人や本、そして経験等によって夢は変わるかもしれません。夢を実現する上で乗り越えなければいけない壁にぶつかったとき、フォーラムのことを思い出してください。いつの日か夢の先に大輪の花が咲きますよう祈っています。

ご協力いただきました全ての人に感謝申し上げます。